



2024年4月19日

各位

会社名 神 栄 株 式 会 社  
代表者名 代表取締役社長 赤澤 秀朗  
(コード番号3004 東証スタンダード)  
問合せ先 経理・財務部長 松本 卓  
(TEL. 078-392-6901)

通期連結業績予想の修正、通期個別業績予想の公表および  
配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり2024年3月期(2023年4月1日～2024年3月31日)の通期連結業績予想(2023年10月31日公表)を修正いたしましたので、お知らせするとともに、通期個別業績が前期実績との対比において適時開示の基準に達する見込みとなりましたので、予想値を公表いたします。

また、配当予想(2023年10月31日公表)を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2024年3月期通期連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,000	1,850	1,850	1,400	343.07
今回修正予想(B)	40,204	1,793	1,909	1,655	405.25
増減額(B-A)	△795	△56	59	255	
増減率(%)	△1.9	△3.1	3.2	18.3	
(ご参考) 前期実績(2023年3月期)	39,892	1,375	1,340	949	233.50

## (2) 修正の理由

物資関連が引き続き好調を維持した一方で、電子関連が伸び悩んだことなどから、売上高および営業利益は前回予想を若干下回る見込みであります。しかしながら、前回予想では下期の追加計上を織り込んでいなかった為替差益の計上などにより、経常利益は前回予想を若干上回る見込みであります。また、当社の今後の業績見通し等を踏まえた繰延税金資産の積み増しや賃上げ促進税制の適用により税金費用が減少する見込みであることなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回る見込みであります。

## 2. 通期個別業績予想について

### (1) 2024年3月期通期個別業績予想 (2023年4月1日 ~ 2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	33,008	824	1,145	883	217.21
今回発表予想 (B)	33,438	1,268	1,761	1,626	398.06
増減額 (B-A)	430	444	616	742	
増減率 (%)	1.3	53.9	53.8	84.1	

### (2) 前期実績との差異の理由

食品関連の冷凍食品分野において、幅広い業態で回復傾向にある需要を取込むべく生産から物流管理にわたるサプライチェーンの安定化による強みを発揮したことや前期において仕入コストの急激な上昇に対する調整を進めていた販売価格の適用効果が一定期間継続したこと、さらに物資関連において機械機器・金属製品分野で北米向け等のハードウェアの取扱いが伸長したことなどから、営業利益、経常利益および当期純利益が前期実績を大幅に上回る見込みであります。

## 3. 配当予想の修正について

### (1) 修正の内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2023年10月31日発表)	—	—	—	円 銭 50.00	円 銭 50.00
今回修正予想	—	—	—	80.00	80.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (2023年3月期)	—	—	—	40.00	40.00

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営の最重要課題と位置付けた中、利益配分は、業績や配当性向に加え、企業価値の向上・拡大に向けた戦略的投資や健全な財務体質構築に向けた内部留保などとのバランスを総合的に勘案し進めていくことを基本方針としております。

この基本方針の下、上記1および2の業績予想のとおり、通期連結業績予想における親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想を上回る見込みであり、また通期個別業績予想における当期純利益も前期実績を大幅に上回る見込みであることを踏まえ、利益に応じた株主還元を実施する観点から、前回予想に対し30円増配し、1株当たり80円に修正いたします。

(注) 上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上